

陳 情	受 理 番 号	33	受 理 年 月 日	令和3年11月25日	付 託 委 員 会	厚生経済
件 名	5歳から12歳までの年齢の新型コロナワクチン接種通知文、接種方法に関する陳情書					

5歳から12歳までの年齢の新型コロナワクチン接種通知文、接種方法に関する陳情書  
いつも市民のために尽力頂きありがとうございます。

(理由・背景)

日本政府は新型コロナウイルスに対するワクチン接種の対象年齢を5-12歳に引き下げると発表しました。私は医師として新型コロナウイルスワクチンに関する情報収集を行っており、最近になり新型コロナウイルスワクチンの感染予防効果はそれほど高くないという論文がイギリスとアメリカそれぞれで発表されました。

イギリスでの調査論文はランセットという有名な医学雑誌に10月30日に掲載されました(資料1)。この雑誌によれば、ワクチン接種後のコロナ感染患者とワクチン未接種のコロナ感染患者の比較において、感染後20日間の家庭内感染の程度を調査していますが、ワクチン接種後のコロナ感染患者で25%、ワクチン未接種のコロナ感染患者で38%でした。新型コロナワクチンの感染予防効果は当初考えられていた効果より高くないという結果が出ました。

また、これは11月12日に発表された査読前の論文ですが、アメリカでコロナウイルス感染者の鼻腔内のウイルス量を調査したところ、ワクチンを接種した群と未接種群で、PCR陽性期間および培養陽性期間に有意な差はみられませんでした(資料2)。この論文の結論には「ワクチンを接種した人が新型コロナウイルスに感染しても、ワクチンを接種していない人に比べて感染力が劣ることはないと考えべきである。」とはっきり記載されています。この論文はアメリカ疾病対策センター(CDC)がまとめたもので、査読前論文ですが非常に重要な発表です。

ワクチンの効果は感染予防、発症予防、重症化予防であり、厚生労働省も接種後半年で重症化予防効果は保たれるが感染予防効果、発症予防効果は低下すると発表しています。上記2つの論文はワクチンによる感染予防効果が当初の想定よりもはるかに低いものであることが証明されています。であるなら、ワクチン接種の意義は重症化リスクの高い高齢者への重症化予防のみに焦点をおいてなされるべきだと考えます。

(願望・要望)

以上において、5歳から12歳までのこどもの新型コロナワクチン接種に関する以下の請願・要望を行います。

1 重症化リスクが極めて低い5歳から12歳までの年齢への新型コロナワクチン接種の際の通知文は、不明点を含めた感染予防効果の有無、重症化予防効果の有無をそれぞれ併記し、本人および親が正しく理解・判断できるようにすること。

※、陳情内容について新設の厚生経済委員会への説明を行いたいため  
参考人招致についてご検討下さい。

2 重症化リスクが極めて低い5歳から12歳までの年齢への新型コロナワクチン接種においても、目的は重症化予防であることを本人、親に周知・理解してもらい、それでも接種を希望される場合には個別接種という対応をとること。

以上を請願・要望させていただきます。なおこの陳情書は私個人の意見によるものですので、私の所属する組織の意見ではありません。所属組織に対するご配慮も併せてお願い申し上げます。今後もより良い市政を市民と共に運営していけるよう、どうぞよろしく願いいたします。